



おきなわ鉄軌道ニュースは、鉄軌道を含む新たな公共交通システム(以後「鉄軌道」という)の計画案づくりの検討状況をお伝えするため、県民の皆さまに配布しています。今後も検討状況にあわせて、継続的に発行していく予定です。

8ページ(最後のページ)にあるアンケートに答えてね!



あなたのご意見お聞かせください!

うにげーさびら

那覇～名護間を1時間で結ぶ鉄軌道導入に向け、計画案づくりを進めています。

- 沖縄県では、
 - ・県土の均衡ある発展
 - ・県民及び観光客の移動利便性の向上
 - ・中南部都市圏の交通渋滞の緩和

などを図る観点から鉄軌道の導入に向け、鉄軌道の計画案づくりに取り組んでいます。

- 計画案は、県民の皆さまからのご意見をいただきながら検討を進めていくこととしています。

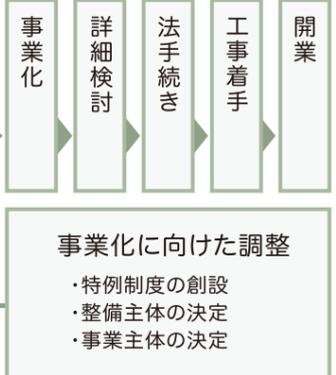
計画案の内容

- 鉄軌道整備計画
 - ・起終点の概ねの位置
 - ・概ねのルート
 - ・想定するシステム
 - ・概ねの駅位置の考え方
 - ・主な構造(平面、高架、地下等)
- フィーダー交通ネットワークのあり方
- 沿線市町村の役割
 - ・駅を考慮したまちづくり計画の検討
 - ・自動車交通から公共交通転換への取組実施

上位計画

- ・沖縄21世紀ビジョン
- ・沖縄県総合交通体系基本計画

構想段階 計画案策定

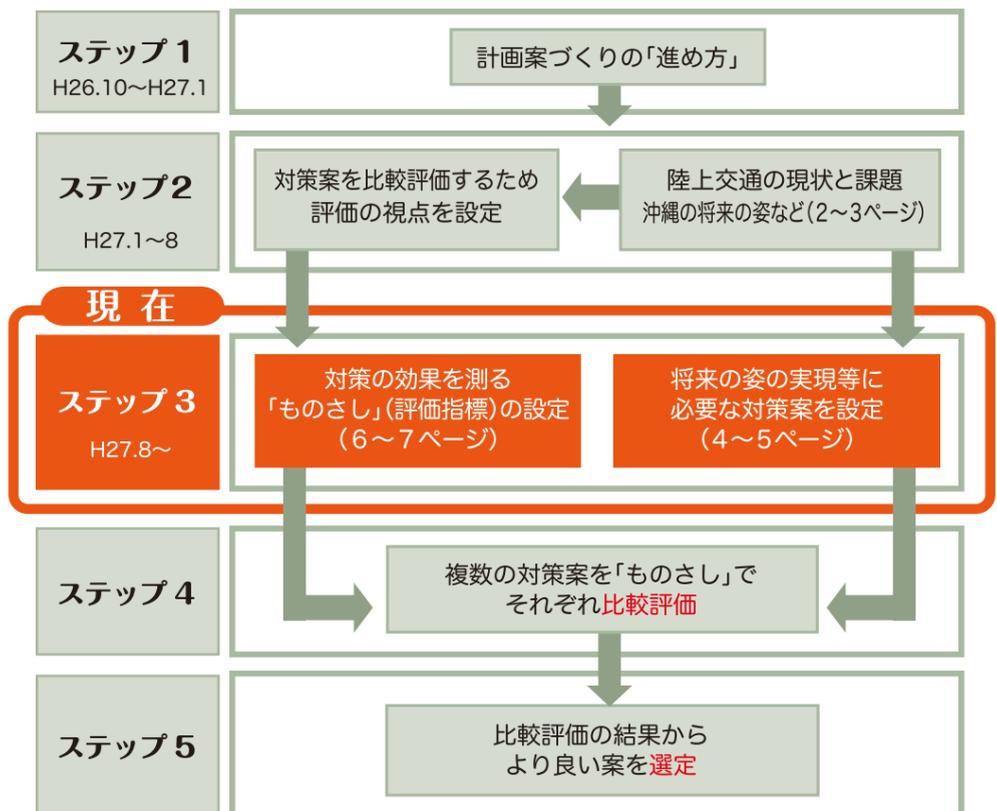


現在、ステップ3の検討を実施中!

- ★ 平成27年1月に、5つのステップで段階的に検討する計画案づくりの「進め方」を決定。
- ★ 1月からステップ2として、「陸上交通の現状と課題」、「評価の視点(評価項目)」等について検討。
- ★ 8月にステップ3の検討に着手。

- ★ ステップ3では、
 - ・将来の姿の実現等に必要な対策案(複数)
 - ・複数ある対策案の中から一番適したものを「ものさし」(評価指標)を設定します。

- ★ ステップ4以降は、複数の対策案を評価指標を用いて比較評価し、より良い案を選定。



1. 将来の姿が実現した場合の私たちの暮らし

□ 「おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)」で示した「沖縄本島の将来の姿」(左下図)について、観光や経済の振興、交通弱者等の移動手段の確保等を期待する多くの声が寄せられました。しかし、一部の方から、私たちの日常がどう変わるか具体的なイメージが分からない、という声もありました。

□ そのため、沖縄の将来の姿を、沖縄21世紀ビジョンで示されている県民が望む5つの将来像から、将来の姿が実現した場合の私たちの暮らしを取りまく環境(社会環境)をイメージした上で、私たちの暮らしをイメージしてみました。**みなさんは、どんな暮らしをイメージしますか?**
□ 4~5ページでは、ここでイメージした将来の姿の実現に向けた対策案について検討を行います。

沖縄21世紀ビジョン(H22.3策定)において県民が望む5つの将来像

将来像I

沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島



将来像II

心豊かで、安全・安心に暮らせる島



将来像III

希望と活力にあふれる豊かな島



将来像IV

世界に開かれた交流と共生の島



将来像V

多様な能力を発揮し、未来を拓く島



沖縄県総合交通体系基本計画(H24.6策定)で示されている沖縄本島の将来の姿

沖縄21世紀ビジョン基本計画(H24.5策定)で示された交通分野に関する基本政策の具体的な構想を示す「沖縄県総合交通体系基本計画」では、那覇と北部圏域の中心都市である名護との移動時間を1時間とする圏域構造の構築、「沖縄本島の将来の姿」が位置づけられています。

那覇と名護との移動時間を1時間とする圏域構造の構築



おきなわ鉄軌道ニュース(第3号)P4「沖縄本島の将来の姿」

将来の姿が実現した場合の私たちの社会環境(イメージ)

自然

沖縄の豊かな自然環境を保全しながら、適正な利用が図られている

生活

地域の拠点を中心としたコンパクトな都市構造が形成され、歩いて暮らせる環境や渋滞緩和が実現している

住み慣れた地域で県民誰もが、保健、医療、福祉の適切なサービスが受けられる

産業

情報通信産業が高度化し、知的・産業クラスターが形成され、環境など沖縄のソフトパワーを活かし新たな産業が創出されている

国際物流ハブ機能を活用し農林水産物など県産品の輸出が拡大している

観光・交流

県内の各圏域間の交流・移動が拡大している

文化・研究等をとおり多様な国際交流が行われている

観光客の多様なニーズに応える観光拠点が多数あり、旅行環境が整備されている

教育

公平な教育機会が享受され、多様な人材が育成されている

将来の姿が実現した場合の私たちの暮らし(イメージ)

大切なものは残しつつ、多くの県民が、多様なライフスタイルを選択できる姿を目指しています。



将来の姿が実現した場合、あなたはどんな暮らしをイメージしますか?
※8ページのアンケート問2でお答え下さい。

2. 対策案検討の基本的考え方について

- 2～3ページで示した沖縄の将来の姿の実現、ステップ2で確認された沖縄の陸上交通の現状の課題解決の観点から「公共交通の役割」を整理した上で、もとめられる「公共交通に関する取組」(右上図)を整理しました。
- そのうち、「今後、具体的な検討がもとめられるもの」として、「骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築」を本計画案における「対策案」とします。



将来の姿の実現等に向けもとめられる「公共交通の役割」

- 【圏域間連携の強化】
 - ・ 広域的地域圏の形成に向け、那覇と北部圏域の中心都市名護間における骨格性、速達性(1時間以内)、定時性を備えた公共交通軸の構築による圏域間連携の強化
- 【移動利便性の向上】
 - ・ 公共交通の有機的連携による県民や観光客の移動利便性の向上
- 【交通の円滑化】
 - ・ 県民や観光客の交通流動が多い地域における交通の円滑化
- 【交通渋滞の緩和】
 - ・ 自動車交通が集中する地域における過度な自家用車利用から公共交通利用への転換による交通渋滞緩和
- 【まちづくりの支援】
 - ・ 中南部都市圏の都市軸形成の支援
 - ・ 中南部圏域の拠点都市を中心とした都市サービス30分生活圏形成の支援
 - ・ コンパクトな集約型市街地形成の支援
 - ・ 観光リゾート地におけるまちづくりとの連携

- 対策案は、将来の姿の実現等に向けもとめられる「公共交通の役割」を踏まえ検討を行います。
みなさんは、将来の姿の実現等に向け、公共交通にどのような役割、どのような取組をもとめますか？

将来の姿の実現等に向けもとめられる「公共交通に関する取組」

- ①既に取り組みが始まっているもの(公共交通への利用転換等に向けた取組)
 - 現在進めているノンステップバスやIC乗車券システムの導入など、バスの利用環境改善に向けた取組を着実に実施し、県民や市町村と連携して公共交通への利用転換に向けた取組なども推進します。
- ②今後、具体的な検討がもとめられるもの
 - 那覇と名護間における骨格性、速達性(1時間以内)等を備えた公共交通軸(「骨格軸」)の構築や公共交通の有機的連携による移動利便性の向上、交通の円滑化などを図るため、
骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築が必要です。

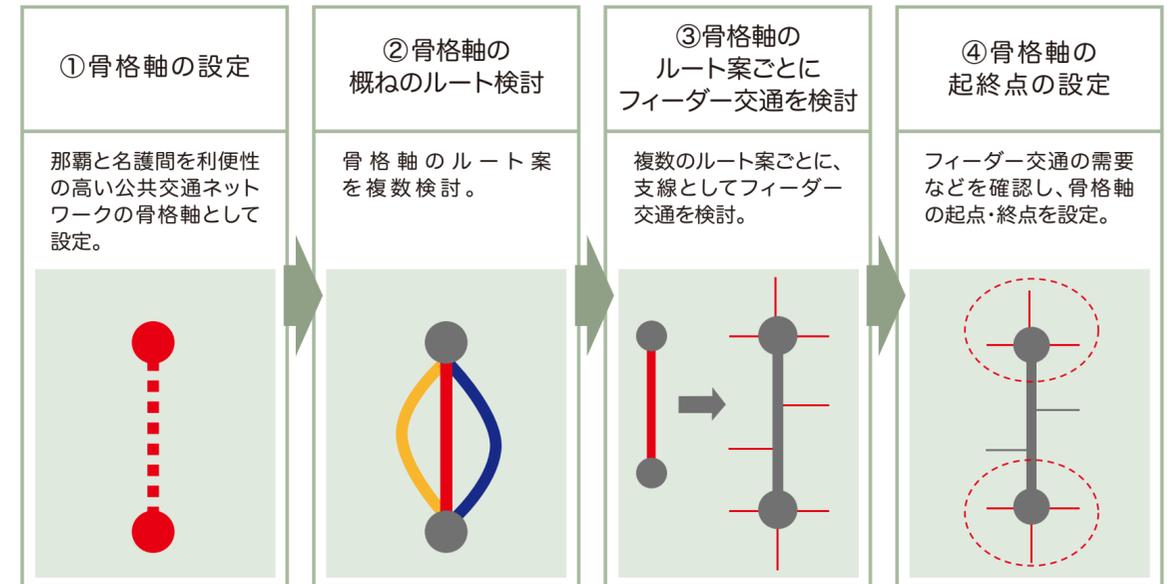
これを対策案として検討を行うよ。

骨格軸：那覇と名護間における骨格性、速達性等を備えた公共交通軸
フィーダー交通：骨格軸と有機的に連携する支線

対策案検討の進め方

- 対策案については、将来の姿の実現等に向けもとめられる「公共交通の役割」を踏まえ、下記のとおり検討を行います。
- 具体的には、骨格軸の検討を柱に、概ねのルートなどについて検討を行うとともに、フィーダー交通については、骨格軸のルート案ごとに、既存の公共交通の利用状況などを勘案し、骨格軸の機能発揮に資するネットワークについて検討を行います。

《検討手順》



※対策案の検討にあたっては、「将来の姿の実現等に向けて公共交通にもとめられる役割」を踏まえ想定されるシステムについても検討を行います。

「陸上交通の現状と課題」は、ステップ2において、県民の皆さまのご意見を踏まえ整理しました。



上の「公共交通の役割」をもとに対策案が検討されていくんだよ

将来の姿の実現等に向け、公共交通にどのような役割、どのような取組をもとめますか？

※8ページのアンケート問3でお答え下さい。



3. 評価指標について

ステップ3では「評価指標」を設定します

- 4～5ページの「2. 対策案検討の基本的考え方」に基づいて検討する複数の対策案の中から、より良い案を選ぶにはどの案がどの点で優れているかを比較する必要があります。
- そのため、ステップ2では、複数の対策案を比較するための評価の視点(評価項目)を、県民の皆さまからご意見をいただきながら、検討しました。
- ステップ3では、ステップ2で設定された評価の視点ごとに、評価の「ものさし」となる評価指標を検討します。
- ステップ4以降では、ステップ3で検討された複数の対策案について、評価の「ものさし」を用いて比較評価し、より良い案を選定していきます。
- なお、対策案は、5ページの「対策案検討の進め方」とおり骨格軸を柱に、フィーダー交通についても骨格軸の機能発揮に資する観点から検討を行うことから、評価はフィーダー交通による効用を踏まえ、骨格軸について行います。また、本計画案の検討は、概ねのルート等について検討を行う構想段階にあることから、複数の対策案の評価にあたっては、県民と情報共有を図りながら、相対的な比較優位性を中心に確認を行います。

ステップ2でいただいた県民意見
＜評価の視点(評価項目)について＞

- ◆「県土の均衡ある発展」や「県民及び観光客の移動利便性の向上」など事業の効果について評価してほしい
- ◆「費用対効果」や「採算性」の視点で評価してほしい
- ◆「自然環境」に最大限配慮してほしいなど

評価指標は、評価の「ものさし」!!

- ①「評価の視点(評価項目)」ごとに、いくつかの「評価指標」を設定しているよ。
- ②「評価指標」とは、実施する対策の効果等を測る「ものさし」なんだ。
- ③この「ものさし」で測ることで、対策案それぞれの特徴がわかるんだよ。

右のページに、評価の視点ごとに、設定した評価指標の説明があるので見てね!

LOOK!!

コラム: 那覇空港の第2滑走路も複数案を比較評価しました

- いくつかの対策案を評価指標を用いて比較評価する方法は、公共事業で一般的に行われています。
- 現在建設が進められている那覇空港の第2滑走路も、増設案を検討する際に「評価指標」を用いて複数案を比較評価しました。
- 「那覇空港プロジェクト」における構想段階の取組や現在の進捗状況の詳細については、以下のホームページをご覧ください。



那覇空港第2滑走路完成後のイメージ

<http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/information/nahakuukou/>

評価指標(ものさし)の内容

事業の効果・影響

○対策案ごとに、事業の目的が達成されるのか、また、どのような効果・影響があるかを、将来の姿の実現等を図る観点から設定された以下の(1)～(5)の視点で整理。

(1) 県土の均衡ある発展

○那覇～主要都市間の所要時間

・那覇と主要都市間の所要時間を算出し、那覇市からの移動時間を確認

○拠点都市から30分(60分)圏域内人口

・拠点都市から30分(60分)圏域内の人口を算出し、通勤や通学できる範囲を確認 など

(2) 県民などの移動利便性向上

○県民及び観光客の公共交通利用者数

・県民及び観光客の公共交通利用者数を予測する など

(3) 公共交通の整備による交通渋滞緩和

○公共交通への利用転換者数

・自動車利用から公共交通利用へ転換する人数を予測し、交通渋滞緩和への寄与の程度を確認 など

(4) 世界水準の観光リゾート地の形成

○那覇～主要観光地間の所要時間

・那覇と主要観光地間の所要時間を算出し、観光客の移動時間を確認 など

(5) まちづくり

○まちづくりへの寄与(インパクト)

・公共交通と連携した基地跡地のまちづくりに寄与できるか確認
・観光振興を支えるまちづくりに寄与できるか確認 など

費用便益分析

○費用便益比

・道路混雑緩和や所要時間の短縮などの便益を貨幣価値に換算して、事業費(費用)と比較



採算性分析

○累積資金収支黒字転換年

・事業主体が黒字になるか、何年後に黒字化するか

事業性

○事業費

・事業費はどの程度か

○工事期間

・工事期間はどの程度か

○事業実施にあたっての留意事項

・地形や地盤、用地の確保、災害などの課題に対して配慮することは何か

環境

○環境への影響及び配慮事項

・自然環境や生活環境等への影響について、配慮することは何か

※評価指標の詳細については、技術検討委員会・計画検討委員会の資料をご覧ください(ホームページに掲載)。

パネル展示等のお知らせ

平成28年1月下旬から県内各地で鉄軌道計画案づくりの検討状況をお知らせするパネル展示や県職員を配置したオープンハウスを実施する予定です。オープンハウスは、下表のパネル展示期間中、「〇〇市役所 ○日午後オープンハウス(例)」と表記した場所・日程で実施します。

パネル展示・オープンハウス実施スケジュール

※スケジュール・場所は予告なく変更する場合がございます。

公共施設・商業施設	平成28年 2月1日～5日	道の駅ゆいゆい国頭、本部町役場、名護市役所 1日午後オープンハウス 、恩納村役場、金武町役場、読谷村役場、北谷町役場、北中城村役場、中城村吉の浦会館、西原町役場、与那原町役場、南風原町役場、南城市役所大里庁舎、八重瀬町役場、豊見城市役所、糸満市役所、沖縄県庁
	平成28年 2月3日～7日	イオン名護、イオン具志川 4日午後、6日午後オープンハウス 、イオン那覇、サンエー西原シティ、サンエー経塚シティ、道の駅許田交通情報センター内 4日午後、6日午後オープンハウス 、モノレール県庁前駅
	平成28年 2月4日～10日	うるま市健康福祉センターうるみん 8日午後オープンハウス
	平成28年 2月5日～12日	東村役場、宜野座村役場
	平成28年 2月8日～12日	道の駅おおぎみ、今帰仁村コミュニティセンター、沖縄市役所、那覇市役所、宮古島市役所 12日午後オープンハウス
	平成28年 2月8日～15日	嘉手納町役場、浦添市役所 15日午後オープンハウス
	平成28年 2月15日～19日	宜野湾市役所、石垣市役所 16日午後オープンハウス 、久米島空港
	平成28年 2月17日～21日	イオン北谷、イオンタウン南城大里、プラザハウスショッピングセンター(沖縄市)、サンエー豊見城ウイングシティ 17日午後、20日午後オープンハウス
大学	平成28年 1月25日～29日	沖縄国際大学 26日午後オープンハウス 、沖縄大学 25日午後オープンハウス 、琉球大学
	平成28年 1月27日～2月2日(土日除く)	沖縄女子短期大学、沖縄キリスト教学院大学、県立芸術大学、県立看護大学
	平成28年 2月1日～5日	名桜大学、沖縄工業高等専門学校 5日午後オープンハウス
病院	平成28年 2月15日～19日	県立北部病院、県立南部医療センター・こども医療センター

県民会議、市町村会議、関係機関等意見交換会実施スケジュール

※スケジュール・場所は予告なく変更する場合がございます。

県民会議	平成28年 1月30日(土) 11:00～16:00	名桜大学学生会館6階ホールB
市町村会議	平成28年 2月3日(水) 14:00～16:00	沖縄県中部合同庁舎4階第1～4会議室
関係機関等意見交換会	平成28年 2月10日(水) 14:00～16:00	沖縄県南部合同庁舎5階第1・2会議室

※上記会議はすべて傍聴できます。

今後の進め方

- ・ 今後、県民の皆さまからいただく「将来の姿が実現した場合の私たちの暮らし」や「公共交通に求める役割や取組」に関するご意見等を踏まえ、複数の対策案を示すことにしています。
- ・ 複数の対策案についても、県民の皆さまに情報提供し、ご意見をお願いすることにしています。

ご意見・ご質問・お問い合わせはこちらへ！

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
 沖縄県企画部交通政策課
 電話：098-866-2045 FAX：098-866-2448
 メールアドレス info@oki-tetsukidou-pi.com
 (沖縄鉄軌道構想段階PI)
 ホームページ http://www.oki-tetsukidou-pi.com



リニューアルしました！

沖縄 鉄軌道

検索

【意見募集期間】

平成28年1月25日～2月24日

皆さまの声を今後の検討に反映させていただくため、以下のアンケートにお答えの上、郵送、FAX、電子メールにてお送りください。(ホームページ、スマートフォンでも直接入力ができます)

〔宛名用紙〕

郵送、FAXの場合は、下記を切り取りご記入の上、お送り下さい。
 (郵送の場合は、「宛名用紙」をお持ちの封筒の表面にしっかりと貼り付けて、下記アンケートを同封の上、ご郵送下さい。)



900-8790
 定形郵便 1437

(受取人)
 那覇中央郵便局 私書箱第175号
 沖縄県 企画部 交通政策課
 「沖縄鉄軌道・計画案づくりPI係」
 (有)沖縄マーケットプランニング気付



切りとり

【居住地】 _____ 県 _____ 市・町・村 _____

アンケート

以下の内容について、○をつけて下さい。

【性別】 男 女 【年齢層】 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代～

【問1】 沖縄県が、鉄軌道導入の取組を行っていることについて

1. 今回知った 2. 以前から知っていた

【問2】 「1. 将来の姿が実現した場合の私たちの暮らし」について(2～3ページ参照)

① 将来の姿が実現した場合の私たちの暮らしについて

1. 理解できた 2. ある程度理解できた 3. あまり理解できなかった 4. 理解できなかった

② 将来の姿が実現した場合、あなたはどんな暮らしをイメージしますか？

【問3】 「2. 対策案検討の基本的考え方について」(4～5ページ参照)

① 将来の姿や陸上交通の現状からとめられる公共交通の役割、取組を整理し、「骨格軸とフィーダー交通が連携する利便性の高い公共交通ネットワークの構築」を対策案として検討することについて

1. 理解できた 2. ある程度理解できた 3. あまり理解できなかった 4. 理解できなかった

② 将来の姿の実現等に向け、あなたは公共交通にどのような役割、どのような取組をもとめますか？

【問4】 その他ご意見、ご要望など、ご自由にお書きください